

商品概要	設定日	1998年7月31日	信託期間	無期限	決算日	11月19日 (休業日の場合は翌営業日)
------	-----	------------	------	-----	-----	----------------------

運用実績

【過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。】

■ 基準価額の推移 (課税前分配金再投資ベース)



※基準価額は信託報酬(後述の「ファンドの費用」参照)控除後のものです。
※ベンチマーク(MSCIヨーロッパインデックス(円換算ベース))は、基準日前営業日の数値を元に、基準日当日の米ドル為替レート(対顧客電信売買相場の仲値)で円換算し、設定日を10,000として指数化しています。

■ 基準価額と純資産総額

純資産総額	1,252(百万円)
基準価額	11,679円
前月末比	+423円

■ 1万口当たり分配実績 (課税前)

分配金	
第1期~16期	計 1,000円
第17期 (2014. 11. 19)	0円
第18期 (2015. 11. 19)	0円
第19期 (2016. 11. 21)	0円
第20期 (2017. 11. 20)	0円
第21期 (2018. 11. 19)	0円
設定来累計	1,000円

※分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断等により分配を行わない場合もあります。

■ 騰落率 (課税前分配金再投資ベース)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	3.76%	-0.61%	-7.37%	-11.19%	7.70%	4.04%	27.92%
ベンチマーク	5.41%	1.41%	-5.50%	-6.27%	14.52%	-0.92%	-7.84%

※基準価額の騰落率は、課税前分配金を再投資したと仮定した数値を用いています。

ポートフォリオの状況

■ 資産配分

	純資産比
株式	96.7%
キャッシュ等	3.3%

銘柄数 63

※株式には、投資信託証券などが含まれます。

■ 組入上位5カ国

	国名	純資産比
1	イギリス	24.2%
2	フランス	20.6%
3	ドイツ	13.9%
4	スイス	9.6%
5	イタリア	5.9%

※国名は、発行体の国籍(所在国)などで区分しています。

■ 組入上位5通貨

	通貨名	純資産比
1	ユーロ	57.5%
2	英ポンド	24.2%
3	スイスフラン	9.6%
4	デンマーククローネ	3.2%
5	ノルウェークローネ	1.8%

■ 組入上位5業種

	業種	純資産比
1	エネルギー	13.8%
2	銀行	12.1%
3	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	10.9%
4	保険	6.8%
5	電気通信サービス	6.8%

※業種はGICS(世界産業分類基準)に準じています。

当資料ご利用の際は、最終頁の「ご留意いただきたい事項」をお読みください。
お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

設定・運用:

インベスコ・アセット・マネジメント

[商号等]インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第306号
[加入協会]一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

ポートフォリオの状況

■ 組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	純資産比
1	ロシュ・ホールディング	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.3%
2	ノバルティス	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.2%
3	サノフィ	フランス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.2%
4	トタル	フランス	エネルギー	2.6%
5	BP	イギリス	エネルギー	2.5%
6	UPMキムメ	フィンランド	素材	2.3%
7	ドイツポスト	ドイツ	運輸	2.3%
8	バーケレイズ	イギリス	銀行	2.3%
9	テスコ	イギリス	食品・生活必需品小売り	2.3%
10	カルフル	フランス	食品・生活必需品小売り	2.2%

※国名は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。

※業種はGICS（世界産業分類基準）に準じています。

ファンドマネージャーのコメント

■ 市場環境

2月の欧州主要株式市場は上昇しました。欧州委員会（EC）によるユーロ圏の成長見通しの引き下げや域内経済指標の弱含みなどがありましたが、米中貿易協議進展への期待や良好な企業決算内容により、株式市場は上昇しました。また、欧州中央銀行（ECB）により域内の銀行への追加支援策の検討も示されました。英国では、欧州連合（EU）からの「合意なき離脱」のリスクが後退したことや堅調な原油価格が好感され、株式市場は上昇しました。

このような投資環境下、各指数の月間騰落率は英国FTSE100指数が+1.52%、ドイツDAX指数が+3.07%、フランスCAC指数が+4.96%となりました。

■ 運用の状況

当ファンドの基準価額は前月末比+3.76%となりました。一方、ベンチマークであるMSCIヨーロッパインデックス（円換算ベース）は+5.41%となり、当ファンドはベンチマークを1.65%下回りました。

【売買銘柄上位3銘柄】

買付銘柄	国名	業種	組入順位	売買状況
シーメンス	ドイツ	資本財	29	追加購入
サノフィ	フランス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3	追加購入
カシヤバンク	スペイン	銀行	23	追加購入

売却銘柄	国名	業種	組入順位	売買状況
ブラズ500	イギリス	各種金融	-	全売却
アホルド・デ・レーズ	オランダ	食品・生活必需品小売り	39	一部売却
プロビデント・ファイナンシャル	イギリス	各種金融	59	一部売却

■ 今後の投資方針（作成日現在のものであり、市場環境の変動などにより変更される場合があります。）

2018年末の欧州株式市場は、①政治リスクの高まり、②世界貿易摩擦、③マクロ経済指標の弱含み、④軟調な原油価格—などを背景に不安定な推移となりましたが、2019年に入り投資家心理には改善が見られます。当月、ECとイングランド銀行（BOE）がユーロ圏と英国の成長見通しをそれぞれ下方修正しましたが、ECBは、新たな金融緩和策（貸出条件付き長期資金供給オペ（TLTRO））の導入の検討が報じられ政策金利を少なくとも2019年まで現状の水準を維持する方針を示しています。2018年12月のドイツの鉱工業生産指数は4カ月連続の低下となりましたが、新しい排ガス基準の導入で新車登録が落ち込んでいた自動車産業の生産は増加し、製造業には回復の兆しがみられます。また、2月のユーロ圏総合購買担当者指数（PMI）速報値は前月から改善しています。

当運用チームは引き続き景気動向や金融政策、政治イベントなどに反応しやすい神経質な市場展開を想定していますが、短期的な市場変動要因、極端な悲観や楽観論に対しては冷静に対処しています。米中貿易摩擦による影響には引き続き注視していきませんが、2020年の大統領選挙を控え、トランプ大統領は貿易問題に対して融和的な姿勢を示すことが予想されます。欧州の経済指標には失速も見られますが、当運用チームは景気後退を予測はしていません。企業は引き続き投資に積極的で、失業率の低下や所得増加は消費の拡大に貢献しています。こうした状況から、当チームは欧州株式市場に対して、引き続き前向きな見方を維持しています。また当チームは、現在、欧州経済に対する過度に悲観的な見方が大勢を占めており、長期的視点から利益成長見通しに対して過小評価されている銘柄が幅広いセクターに存在するとみています。

上記のような投資環境の見通しの下、当ファンドの運用では、引き続き、企業のファンダメンタルズおよび株価バリュエーションを確認しつつ、銘柄の入れ替えを行っていきます。当運用チームでは、企業の本質的価値や実質的に考慮すべきリスクに対し、バリュエーションの魅力が高いと考える投資機会を選別していく方針です。

当資料ご利用の際は、最終頁の「ご留意いただきたい事項」をお読みください。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの特色

- 英国および欧州大陸の優良企業の株式を厳選し、これらに分散投資することにより、投資信託財産の成長を図ります。
- MSCIヨーロッパインデックス(円換算ベース)^{※1}をベンチマーク^{※2}として運用を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
 - ※1 ◇「MSCIヨーロッパインデックス(円換算ベース)」とは、MSCI Inc.が公表する基準日前営業日の「MSCIヨーロッパインデックス(米ドルベース)」に基準日当日の米ドル為替レート(対顧客電信売買相場の仲値)を乗じ、委託会社に独自に円換算したものです。
 - ◇「MSCIヨーロッパインデックス(米ドルベース)」は、MSCI Inc.が算出する株式インデックス(指数)の一つです。MSCIインデックスは、MSCI Inc.の知的財産であり、MSCIはMSCI Inc.のサービスマークです。
 - ◇この情報はMSCI Inc.の営業秘密であり、またその著作権はMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。また、ここに掲載されるすべての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。
 - ◇「MSCIヨーロッパインデックス」の構成国や構成銘柄等は、適宜見直しが行われます。かかる見直しに伴い、ファンドはベンチマークを変更することがあります。
- ※2 ベンチマークとは、ファンドのパフォーマンス評価やポートフォリオのリスク管理を行う際の基準となる指標のことです。ファンドは、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を得ることを目的としていますが、ベンチマークを上回る投資成果をあげることを保証するものではありません。
- 外貨建資産の投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、投資環境がファンドに重大な影響を与えると考えられる場合には、為替ヘッジを行うことがあります。
- インベスコ・アセット・マネジメント・リミテッド(英国、オックスフォードシャー)に運用の指図に関する権限を委託します。

ファンドのリスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。

基準価額の変動要因

ファンドは外国の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

価格変動リスク

〈株式〉株価の下落は、基準価額の下落要因です。

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績や財務状況、市場の需給などを反映し、下落することがあります。

信用リスク

発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。

ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。

カントリー・リスク

投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。

為替変動リスク

為替の変動(円高)は、基準価額の下落要因です。

ファンドは為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。

お申し込みメモ

購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 * 分配金の受け取り方法により、「分配金再投資コース」と「分配金受取りコース」の2コースがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金の申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
購入・換金申込不可日	—
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時まで(販売会社所定の事務手続きが完了したもの)
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
信託期間	無期限(設定日:1998年7月31日)
繰上償還	信託契約の一部解約により、受益権の総口数が10億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。
決算日	毎年11月19日(ただし、同日が休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 * 「分配金再投資コース」でお申し込みの場合は、分配金は税引後無手数料で再投資されます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除は適用されません。

当資料ご利用の際は、最終頁の「ご留意いただきたい事項」をお読みください。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める 2.16%(税抜2.00%)以内 の率を乗じて得た額
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	日々の投資信託財産の純資産総額に 年率1.62%(税抜1.50%) を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	<ul style="list-style-type: none"> 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用の中には運用状況などによって変動するものもあるため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 監査費用は、投資信託財産の純資産総額に対して年率0.108%(税抜0.10%)を上限として、毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払うものとします。

* 上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

販売会社(投資信託説明書(目論見書)のご請求・お申し込み先)

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書(目論見書)の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務を行います。

※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

■ 当ファンドの照会先

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)
電話番号:03-6447-3100 ホームページ:<http://www.invesco.co.jp/>

【ご留意いただきたい事項】

当資料は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。本文で詳述した当資料の分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と重要な差異が生じる可能性もあります。投資信託は、株式などの値動きのある有価証券など(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。これらの運用による損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。当ファンドの購入に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)制度の適用はありません。当ファンドの購入のお申し込みを行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時に販売会社でお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。